

中学生のスポーツ活動と 保護者の関与に関する調査 (速報値)

2025年3月



調査概要

●調査目的

中学生はどのような環境でスポーツをしているのか、保護者がどのように関与し、ささえているのかを明らかにする。

●調査方法・調査対象

登録モニターを対象としたインターネット調査。

中学1～3年生の第1子をもつ保護者(母親・父親)が対象。

子どもの属性(性別・学年・地域ブロック)は人口構成比に応じて割り付けた。

●有効回答数

3,136(母親1,586、父親1,550)

※データクリーニングの過程で、同一選択肢が連続するなど回答傾向が不自然と判断されるケースを除外した。

●調査時期

2025年1月

●主な調査項目

全員への質問

●部活動の種類

●スポーツクラブ・教室の種目

●スポーツ以外の習いごと

●子どものスポーツに対する一般的な考え方

●子どものスポーツ環境

●中学入学前のスポーツ歴

●スポーツ推薦の希望

●子どもの属性

●家庭環境、保護者の属性

運動部・文化部

- ・活動日数・時間
- ・競技レベル
- ・費用
- ・部活動にある組織
- ・保護者の関与とやりがい・負担感
- ・保護者の関与に対する意識
- ・部活動を通じた経験
- ・部活動への期待
- ・指導者

スポーツクラブ

- ・活動日数・時間
- ・競技レベル
- ・費用
- ・クラブにある組織
- ・保護者の関与とやりがい・負担感
- ・保護者の関与に対する意識
- ・クラブを通じた経験
- ・クラブへの期待
- ・クラブの運営団体

運動部とクラブへの加入なし

- ・子どもの運動・スポーツに対する意識

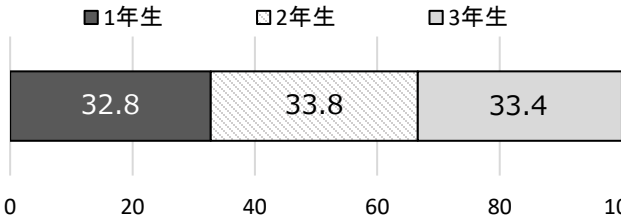
・部活動とスポーツクラブの両方に加入している場合は、いずれの質問にも回答。

・子どもが中学3年生で、部活動の引退や、受験のためにスポーツクラブを一時的に休会・退会している場合は、それ以前の活動内容について回答。

基本属性

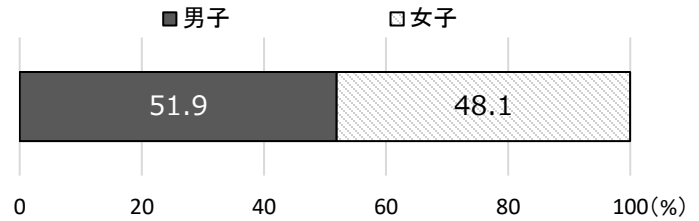
●子どもの学年

(n=3,136)



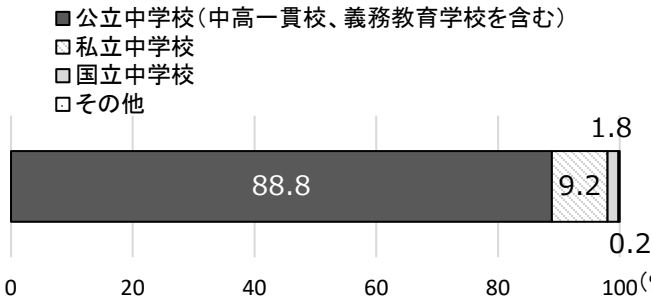
●子どもの性別

(n=3,136)



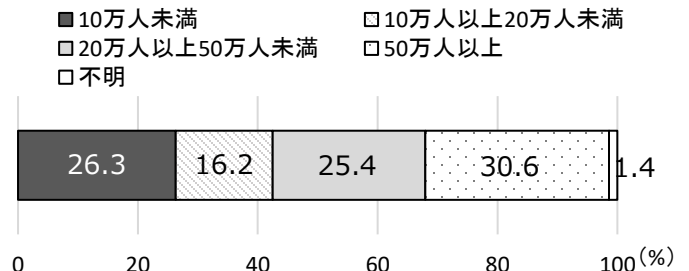
●子どもの中学校

(n=3,136)



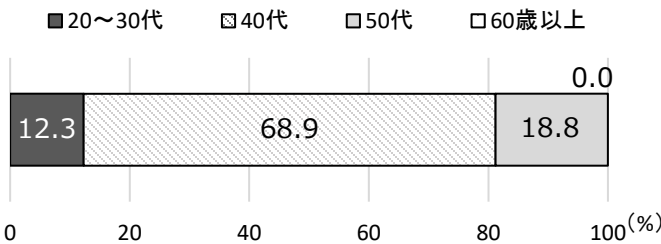
●居住する市区町村の人口規模

(n=3,136)



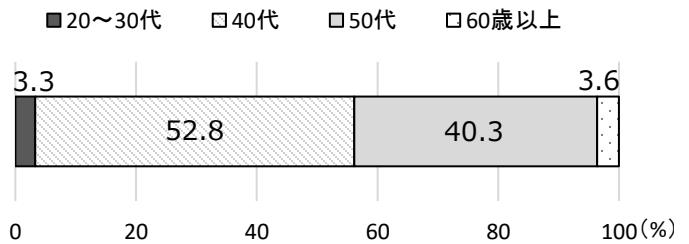
●母親の年齢

(n=1,586)



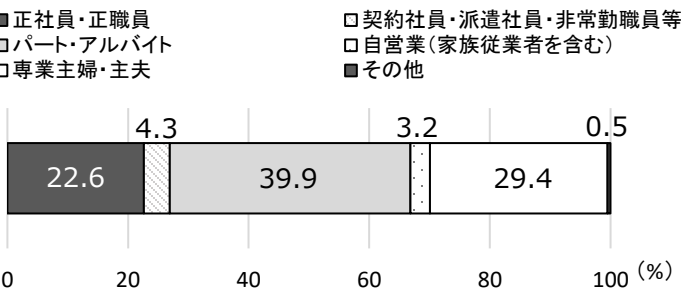
●父親の年齢

(n=1,550)



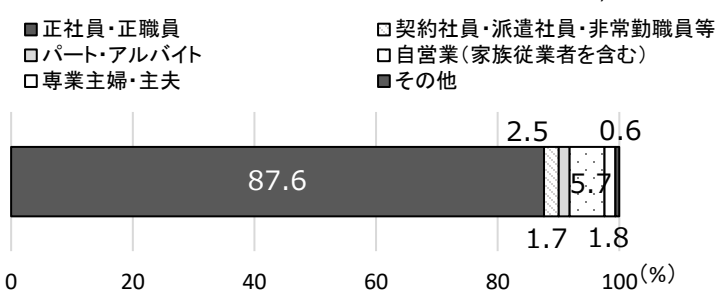
●母親の就業形態

(n=1,586)



●父親の就業形態

(n=1,550)



I. 運動部・文化部・スポーツクラブの比較

1) 運動部・文化部・スポーツクラブの加入状況

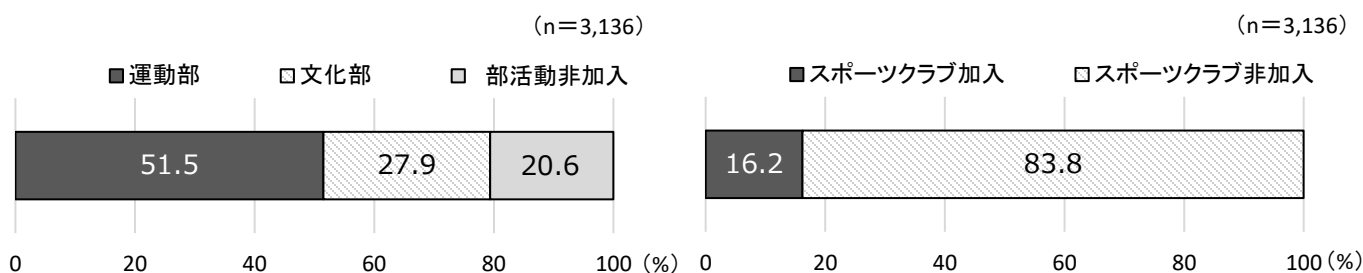
運動部加入は52%、スポーツクラブ加入は16%

Q: お子様が入っている部活動の種目・活動種別を選んでください。

Q: お子様在学校の部活動以外に通っているスポーツのクラブや教室などがありますか。

※いずれの設問も、複数に加入している場合には、活動日数が多い種目(同じ場合は子どもがより熱心に取り組んでいる種目)を1つ選択。

図 I -1 部活動・スポーツクラブの加入状況



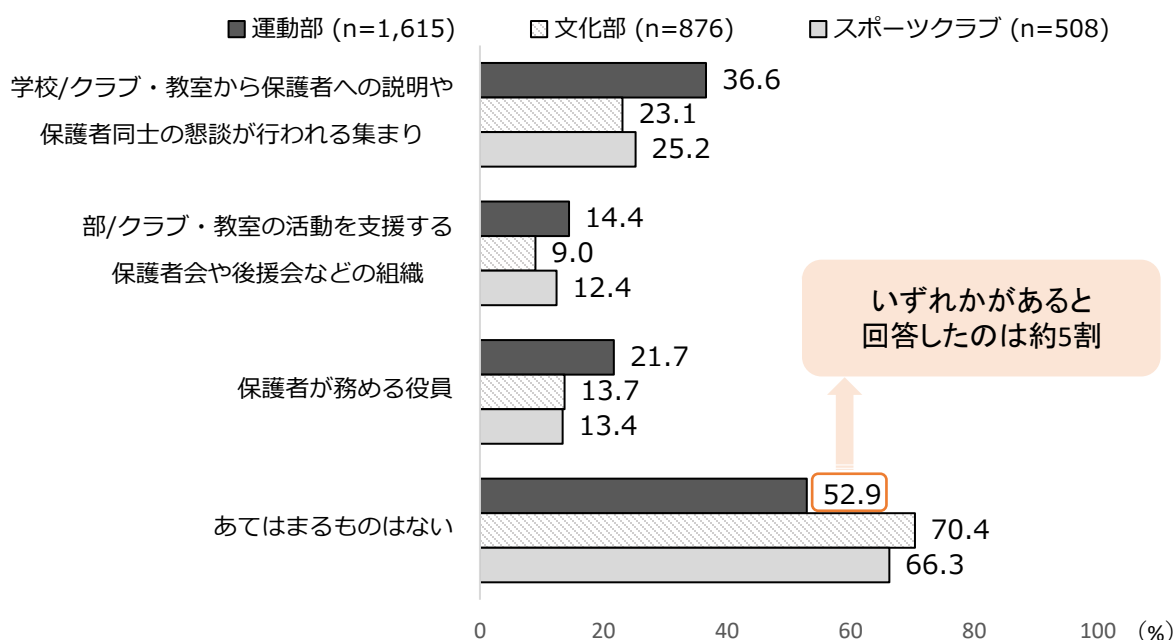
本章では「運動部」「文化部」「スポーツクラブ」の加入者を対象に分析を行う。
部活動とスポーツクラブの両方に加入している場合は、双方の分析対象に含める。

2) 所属する部活動・スポーツクラブの保護者組織

運動部では、保護者への説明会や役員のある部が多い

Q: 以下の中から、お子様が加入する部活動/クラブや教室にあるものをすべて選んでください。

図 I -2 部活動・スポーツクラブの保護者組織



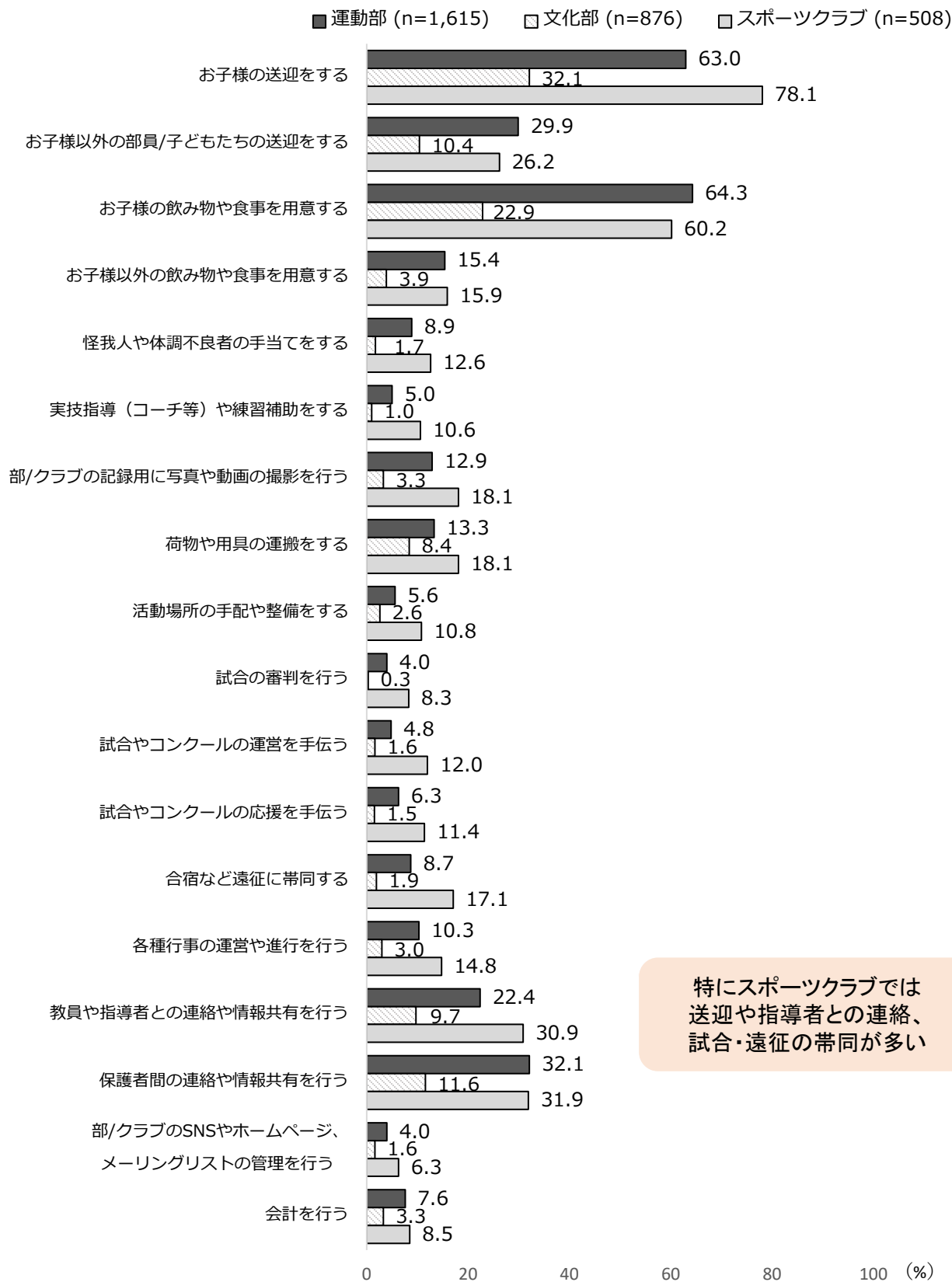
注) 複数回答。

3)保護者の関与

運動部・スポーツクラブでは保護者の関与が多い

Q: あなたはお子様が加入する部活動/クラブや教室で次のような関わりをどれくらいしていますか。

図 I -3 保護者の関与



特にスポーツクラブでは
送迎や指導者との連絡、
試合・遠征の帯同が多い

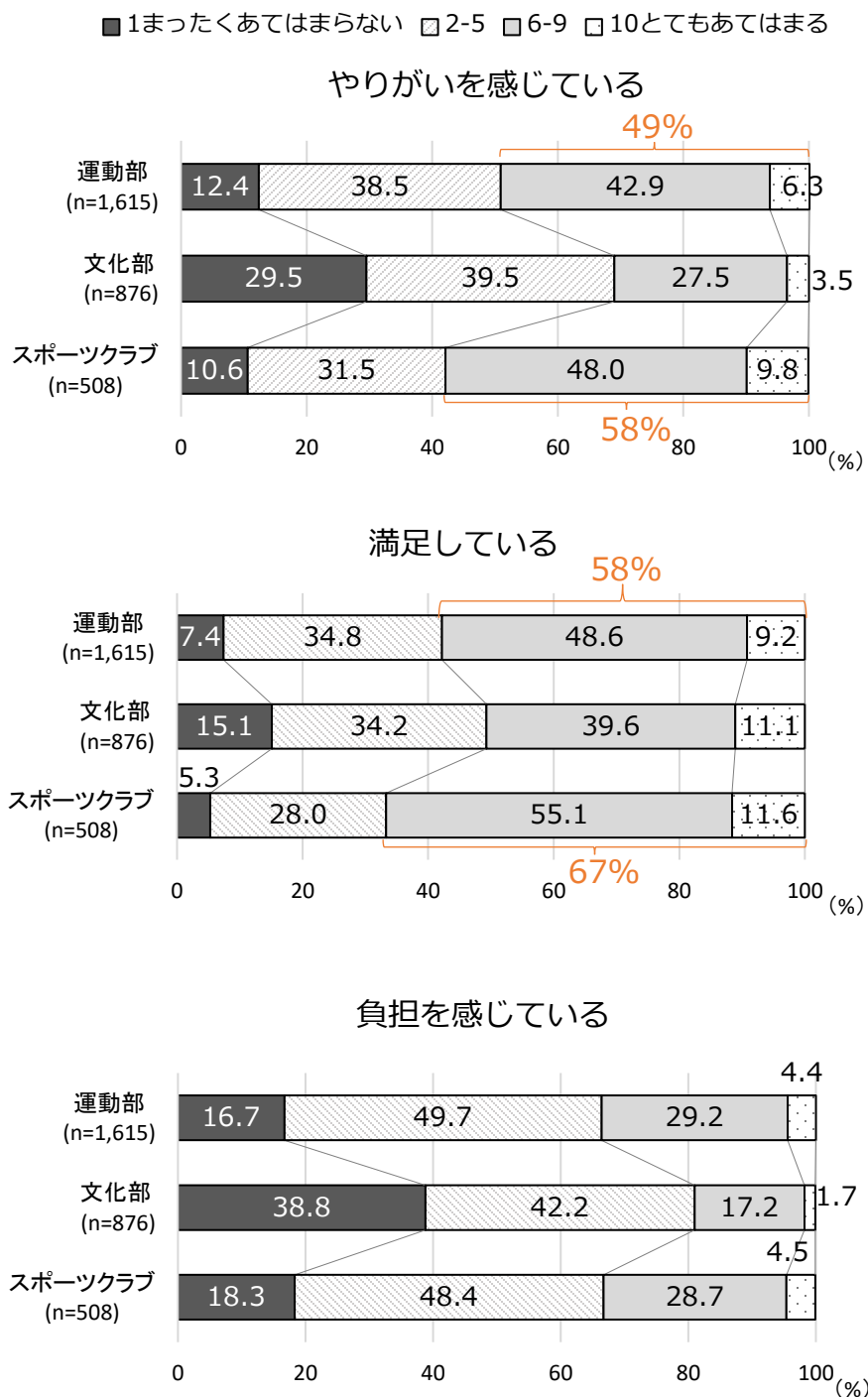
注)「よくする」+「時々する」の%。

4)部活動・スポーツクラブへの関わりに対する意識

スポーツクラブでは保護者のやりがい・満足度が高い

Q: 保護者の部活動/クラブや教室への関わりを総合的にみて、あなたはどのように感じていますか。

図 I -4 部活動・スポーツクラブへの関わりに対する意識



注)「まったくあてはまらない」を1、「とてもあてはまる」を10とし、各項目について10段階の数値から選択してもらった。1～5は「あてはまらない」、6～10は「あてはまる」と解釈できる。

5)費用

スポーツクラブでかかる費用は部活動に比べて高い

Q: お子様が加入している部活動/クラブや教室について、1年間でご家庭から支払うおよその費用を教えてください。

図 I -5-1 費用総額(平均値)

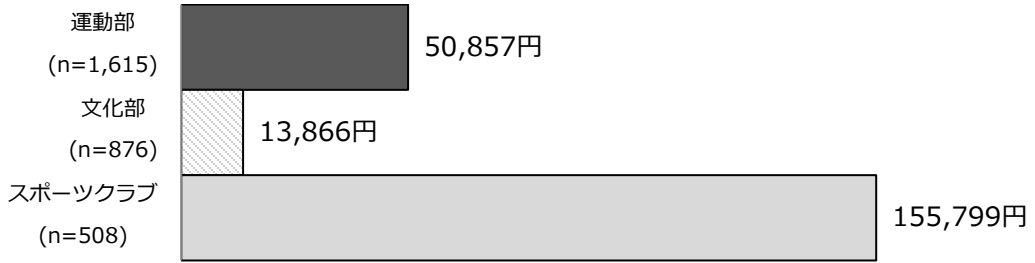
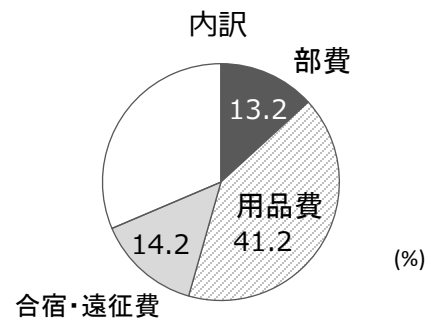
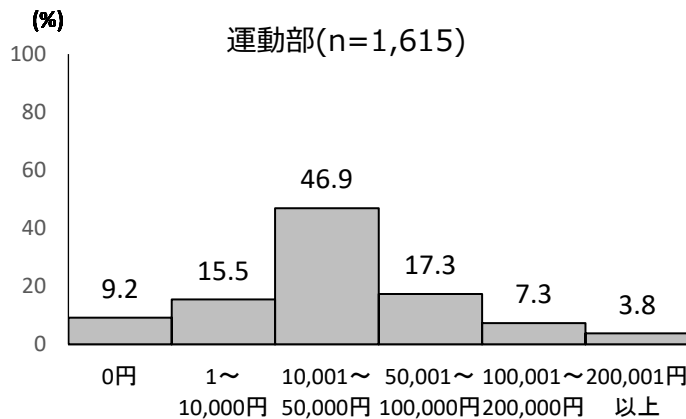
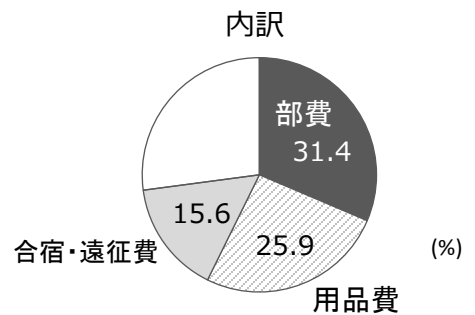
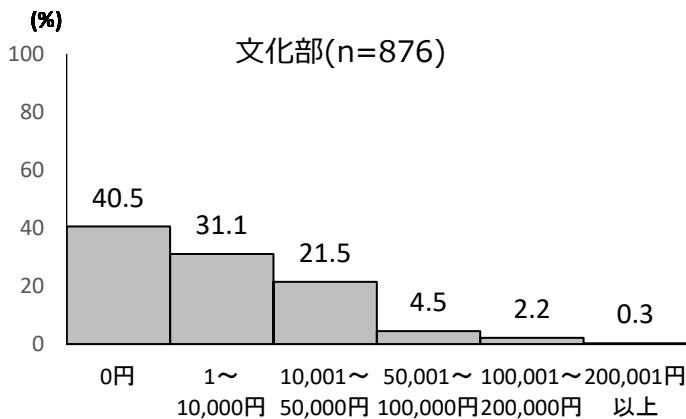


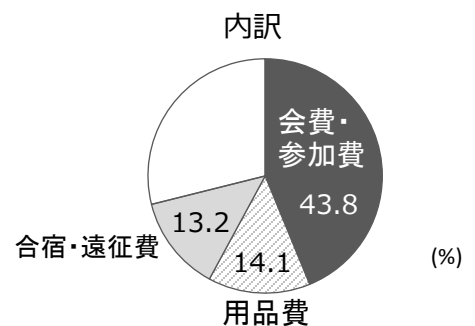
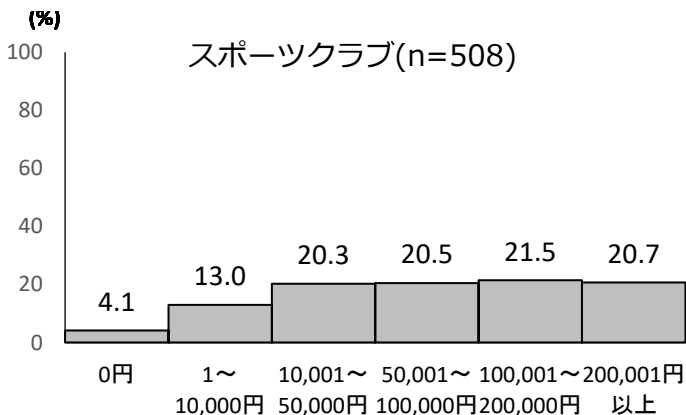
図 I -5-2 費用総額(分布および内訳)



5万円以下が7割、用品費が中心



1万円以下が7割、部費や用品費が中心



10万円以上が4割、会費・参加費が中心

注1) 費用は「部費/会費・参加費」「保護者会費」「後援会費」「用品費」「交通費」「合宿・遠征費」「飲食費」「大会やコンクール、発表会等への参加費」「その他」の9項目について回答を求め、それらの合計値を「費用総額」として示している。なお、金額は個人差が大きく、一部には高額なケースもみられるため、平均値の解釈には慎重を要する。ただし、外れ値の影響を考慮した処理を施しても、スポーツクラブの費用が運動部の約3倍である傾向に変化はなかった。

注2) 内訳は各費目の合計額を総額の合計で除して算出している。

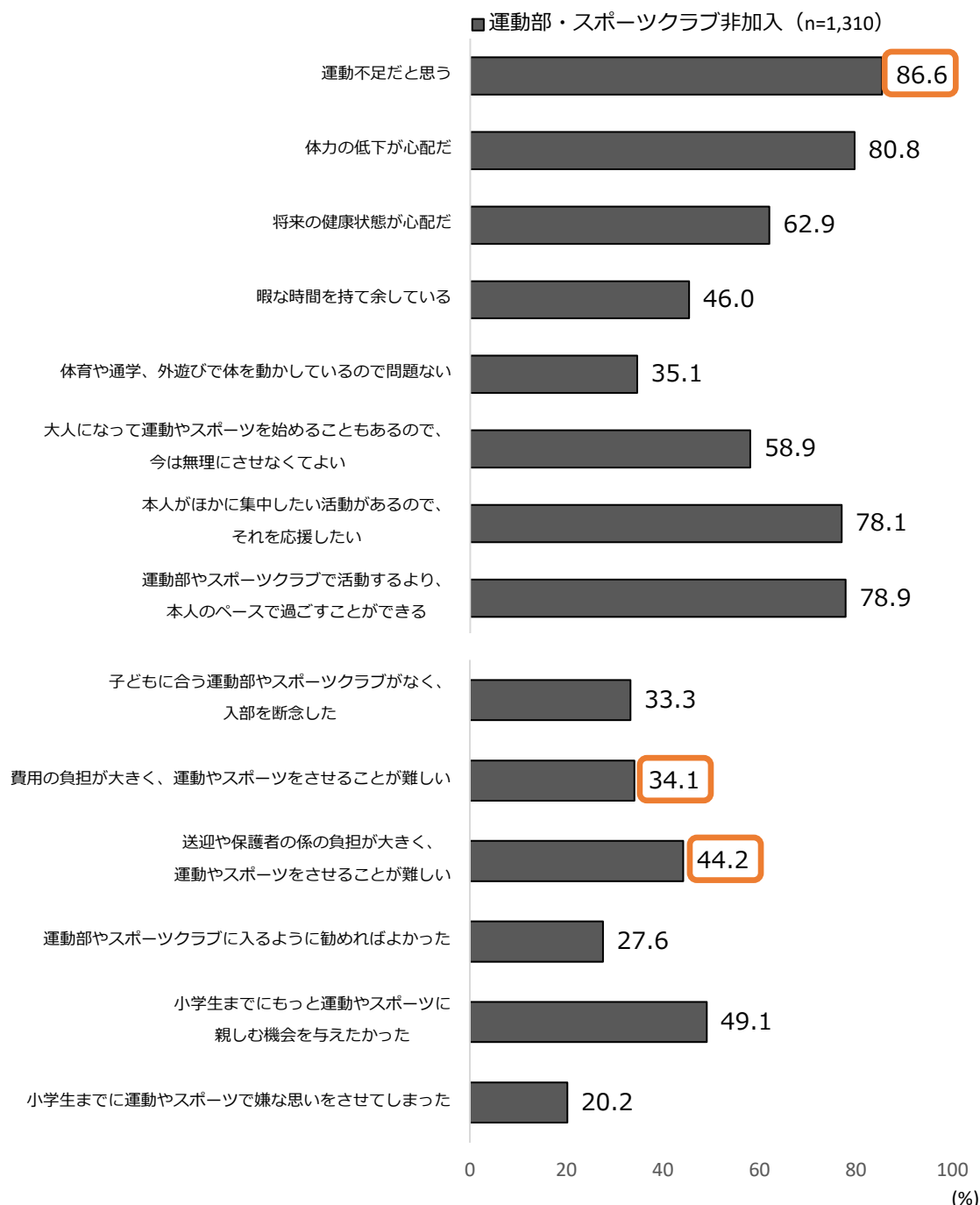
Ⅱ. 文化部・非加入群の意識

1)子どもの運動・スポーツに対する意識

運動不足だと思う9割、保護者負担でスポーツが難しい4割

Q: お子様は運動部やスポーツクラブに所属していない方にお聞きします。お子様の日ごろの様子や運動・スポーツについて、あなたはどのように思いますか。

図Ⅱ-1 子どもの運動・スポーツに対する意識



注)「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。

本研究では中学1～3年生の母親・父親計3,136名を対象とした大規模調査を実施し、保護者の目線から中学生のスポーツ活動の実態を把握しました。これまで十分に研究がされてこなかった、中学生の保護者による部活動やクラブチームへの関わりや、具体的な支出を明らかにした点に価値があります。

調査の結果、運動部やスポーツクラブでは、文化部に比べて保護者の関与が多いことが確認されました。また、費用については、運動部活動はスポーツクラブよりも安価であることが示されました。

今後は報告書の発刊に向けて、子どもの属性や地域差、種目による違いなど、詳細な分析を進めてまいります。本研究が、子どもたちのスポーツ環境やそれをささえる家庭の役割についての議論を深める契機となることを願っています。

笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 宮本幸子

調査担当

宮本 幸子(笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 政策ディレクター)

共同研究者

中澤 篤史(早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授)

研究協力者

加藤 一晃(名古屋芸術大学 芸術学部 講師)

村本 宗太郎(立教大学 スポーツウエルネス学部 助教)

須藤 巖彬(早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科 博士課程)

船木 豪太(早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科 博士課程)

※肩書は2025年3月時点

本調査の詳細な分析や考察等をまとめた報告書を
2025年度に発刊予定です

無断転載、複製および転訳載を禁止します。引用の際は本書が出典であることを明記してください。
本事業は、ボートレースの交付金による日本財団の助成金を受けて実施しました。